

安全データシート (SDS)

作成 2007年8月10日
最終改訂 2025年6月18日

1.【化学物質等及び会社情報】

製品

製品の名称 リバース消臭クリーン

供給者情報

会社名 アルタン株式会社
住所 東京都大田区東糀谷3-11-10
担当部門 商品部
電話番号 03-3743-5705
FAX番号 03-3743-5706
緊急連絡先 同上

2.【危険有害性の要約】

GHS分類 GHSの危険有害性区分に該当しない

絵表示又はシンボル なし

注意書き

【安全対策】 使用前に取扱説明書を入手しすべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
粉じん/ミストを吸入しないこと。
取扱い後は手をよく洗うこと。
この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。
環境への放出を避けること。
保護手袋/保護衣/保護メガネ/保護面を着用すること。

【応急措置】 取り扱った後、手を洗うこと。

飲み込んだ場合

口をすすぎ、気分が悪い時は医師に連絡すること。

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
直ちに医師に連絡すること。
換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
涼しいところに置くこと。

【保管】 内容物／容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の

【廃棄】 廃棄物処理業者に業務委託すること。

3.【組成・成分情報】

単一製品・混合物の区別 混合物

成分及び含有量

化学名	含有量(wt%)	CAS No.	化審法番号	PRTR法
無機塩(中和剤)	非公開	非公開	非公開	非該当
吸水性樹脂(特殊高分子吸収剤)	非公開	非公開	非公開	非該当
除菌剤	非公開	非公開	非公開	非該当
植物性精油	非公開	非公開	非公開	非該当

4.【応急処置】

吸入した場合

粉塵やミストを吸い込んだときは、直ちに新鮮な空気のある場所へ移動し、鼻をかんだり、よくうがいをする。何らかの異常を感じた時は、直ちに医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合

直ちに多量の水でぬめり感がなくなるまで十分に洗い流す。衣服や靴などに付いたときは、直ちに脱ぎ皮膚を多量の水でぬめり感がなくなるまで十分に洗い流す。
何らかの異常を感じた時は、直ちに医師の診断を受ける。

眼に入った場合

直ちに流水で15分以上洗い流す。コンタクトレンズは外す。その後、直ちに医師の処置を受ける。

飲み込んだ場合

直ちに水で口の中を洗浄し、コップ1～2杯の水または牛乳を飲ませて、

直ちに医師の処置を受ける。無理に吐かせようとしない。意識のない時は口から何も与えない。ただし、牛乳アレルギーの人には牛乳を与えない。
 その他 使用中、眼に異状を感じたり、せき込んだり、気分が悪くなったときは、直ちに使用を止めてその場から離れ、洗眼、うがいをする。
 その後、直ちに医師の処置を受ける。
 いずれの場合も、医師への診察時には、製品または安全データシートを持参する。

5.【火災時の措置】

適切な消火剤 水、粉末消火剤

使ってはならない消火剤

情報なし

火災時の特有の危険有害性

有毒性ガスを放出することがある。

煙を吸入しないこと。

特有の消火方法

周辺火災の場合はすみやかに安全な場所に移す。

移動ができない場合は、風上より容器周辺に散水して冷却する。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防装置

消火作業では、適切な保護具を着用する。

6.【漏出時の措置】

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

適切な保護具(保護メガネ、ゴム手袋、ゴム長靴、保護衣、保護マスク等)の

保護具を着用する。

漏出した場所の周辺にロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。

環境に対する注意事項

環境への放出を避けること。

下水道や公共用水域への侵入を防ぐ。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

漏出したものをすくいとり、又は掃き集めて紙袋又はドラム等に回収する。

二次災害の防止策

付近の着火源となるものを速やかに除くとともに消火剤を準備する。

こぼれた製品の上を歩く際は注意する。

火花の出ない工具を使用する。

7.【取り扱い及び保管上の注意】

取扱い(技術的対策/安全取扱い注意事項/接触回避/衛生対策)

取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。

粉塵を吸入しないように防塵マスクを着用する。必要に応じて局所排気を行う。

作業場の換気を十分に行う。保護眼鏡、保護手袋等の適切な保護具を着用。

取扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする。粉塵の発生を避ける。粉塵

爆発の危険性も考えられるので大量の取扱いには注意する。微粉末の場合は、設

備は静電気対策を実施する。水に濡れると非常に滑り易くなるので注意する。

保管(安全な保管条件/安全な容器包装材料)

屋内の通気の良い場所で容器を密閉して保管する。吸湿しやすいので水分や高湿

に注意する。破袋を防ぐため乱暴な取扱いをしない。

製品使用の容器に準ずる。

8.【暴露防止及び保護措置】

管理濃度

設定なし

許容濃度

日本産衛学会

第三種粉塵 吸入性粉塵 2mg/m³、総粉塵 8mg/m³

ACGIH

データなし

設備対策

取扱い場所の近くに洗眼、身体洗浄のための設備を設ける。

粉塵またはヒュームやミストが発生する場合は、適切な排気換気装置を

設置する。

呼吸器用保護具

必要により防塵マスクを着用する。

手の保護具

不浸透性(耐薬品、耐油)保護手袋。

目・顔面の保護具

保護眼鏡

皮膚及び身体の保護具

長袖作業衣等、安全靴等。

9.【物理的及び化学的性質】

物理状態	粉末
色	白色
臭い	かすかな固有臭
融点	データなし

沸点	データなし
可燃性	データなし
爆発限界	データなし
引火点	データなし
自然発火点	データなし
分解温度	データなし
pH	8(1wt%aq)
動粘性率	データなし
溶解度	水溶性
n-オクタノール/ 水分配係数	データなし
蒸気圧	データなし
密度	約1.0(かさ比重)
相対ガス密度	データなし
粒子特性	データなし

10.【安定性及び反応性】

反応性	情報なし
化学的安定性	通常の使用条件で安定。一般的な貯蔵・取扱いにおいて安定。
危険有害反応可能性	通常の使用条件で安定。
避けるべき条件	高温/多湿を避けて保管する。
混触危険物質	情報なし
危険有害な分解生成物	情報なし
その他	情報なし

11.【有害性情報】

急性毒性	(経口)	分類できない。
	(経皮)	分類できない。
	(吸入:ガス)	分類できない。
	(吸入:蒸気)	区分に該当しない。
	(吸入:粉じん・ミスト)	分類できない。
皮膚腐食性/刺激性		分類できない。
眼に対する重篤な損傷/刺激性		分類できない。
呼吸感作性		分類できない。
皮膚感作性		分類できない。
生殖細胞変異原性		分類できない。
発がん性		分類できない。
生殖毒性		分類できない。
特定標的臓器毒性(単回暴露)		分類できない。
特定標的臓器毒性(反復暴露)		分類できない。
誤えん有害性		分類できない。

12.【環境影響情報】

土壤中の移動性	情報なし
残留性・分解性	情報なし
生態蓄積性	情報なし
生態毒性	情報なし
他の有害影響	情報なし

13.【廃棄上の注意】

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報	
残余廃棄物	下水道以外の河川等、公共水域への排出は絶対に避ける。 廃棄処理をするときは適切な保護具を着用する。 関連法規ならびに地方自治体の基準に従い適正に処理する。必要に応じて、都道府県知事の許可を得た専門の廃棄物処理業者にて委託処理をする。
汚染容器・包装	関連法規ならびに地方自治体の基準に従い適正に処理する。必要に応じて、都道府県知事の許可を得た専門の廃棄物処理業者にて委託処理をする。

14.【輸送上の注意】

国連番号	該当しない
品名(国連輸送名)	該当しない
国連分類	該当しない
容器等級	該当しない

海洋汚染物質	該当しない
輸送規則	航空輸送は IATA、および海上輸送は IMDG の規則に従う。
国内法規制	
陸上規制	消防法、労働安全衛生法等の規定に従う。
海上規制情報	船舶安全法の規定に従う。
航空規制情報	航空法の規定に従う。

輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策

輸送前に容器の破損、腐食、漏れなどが無いことを確認する。
荷役作業は丁寧に扱い、容器を破損しないように取り扱う。
転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。
直射日光、高温を避ける。
水濡れを避ける。

15.【適用法令】

当該法令の名称及びその法令に基づく規制に関する情報		
毒物及び劇物取締法		該当しない
化学物質管理促進法		該当しない
労働安全衛生法	通知対象物	アルミニウム及びその水溶性塩(0.2%未満)
	表示物質	該当しない
	有機則	該当しない
	特化則	該当しない
	リスクアセスメント対象物質	アルミニウム及びその水溶性塩(0.2%未満)
	皮膚等障害化学物質	
		該当しない
消防法		該当しない

16.【その他の情報】

記載内容の問い合わせ先	アルタン株式会社
住所	東京都大田区東糀谷3-11-10
担当部門	商品部
電話番号	03-3743-5705
FAX番号	03-3743-5706

改訂履歴	
作成	2007年8月10日
改訂	2016年2月4日
改訂	2022年4月11日
改訂	2022年5月25日
改訂	2024年4月17日
最終改訂	2025年6月18日

注意

- ・この情報は新しい知見及び試験等により改正されることがあります。
- ・記載内容は現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確さ、完全性を保証するものではありません。
- ・注意事項は通常の取扱いを対象としたものですが、特別な取扱いをする場合には、新たな用途、用法に適した安全対策を講じた上で実施してください。
- ・すべての化学品には未知の有害性があり得るため、取扱いには細心の注意が必要です。
- ・ご使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定してください。